

2020 年度後期全学教育機構「学生による授業アンケート」の結果

信州大学全学教育機構点検評価委員会

全学教育機構では、2020 年度後期に予定していた中間アンケートは、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、前期同様に実施することは困難だと判断し、実施しないこととした。そのため、本結果は期末に実施されたアンケート結果に基づくものである。

2020 年度後期期末「学生による授業アンケート」は、対象科目全てが WEB にて実施された。

アンケートの質問項目は、以下のとおりである。

<アンケート質問項目>

1. 必修・選択の別を記入して下さい。（2 択） ※1. の選択肢（必修，選択）
2. この授業が掲げた目標に、あなたは到達しましたか。（5 択）
3. 学習を進める上で、シラバスは役に立ちましたか。（5 択）
4. 内容を理解する上で適切な授業外学習が課されていきましたか。（5 択）
5. この授業のために、あなたは一週間あたりどのくらい授業外で学習しましたか。（5 択）
※5. の選択肢（3 時間以上，2 時間以上 3 時間未満，1 時間以上 2 時間未満，30 分以上 1 時間未満，30 分未満）
6. この授業に対するあなたの態度は良かったですか（欠席をしない，課題等を期限内に提出する，私語・居眠りをしない，質問するなど，積極的に受講しましたか）。（5 択）
7. あなたは、この授業の一連の経験を通して、達成感を得られましたか。（5 択）
8. この授業を受けて、あなたができるようになったことや学んだことを書いてください。（自由記述）
9. この授業を受けて、あなたにとってもっとも価値があったもの・ことを書いてください。（自由記述）
10. 教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていましたか。（5 択）
11. 教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。（5 択）
12. 教員は、板書・資料・スクリーン等を見やすく示していましたか。（5 択）
13. 教員は、シラバスの各項目に沿って授業をしましたか。（5 択）
14. 教員は、学生の理解度を確認（小テスト，リアクションペーパー，口頭など）しながら進めましたか。（5 択）
15. この授業について、改善すべきと思う事，教員が工夫をしていると思う事，その他，意見，要望等がありましたら，書いてください（自由記述）
16. この授業において 15 回の授業のうち「グループワーク」は実施されましたか。また，その頻度はどのくらいですか。（5 択）
※16. の選択肢（15 回，10 回以上 15 回未満，5 回以上 10 回未満，5 回未満，実施されていない）
17. この授業において「フィールドワーク」は実施されましたか。また，その頻度は授業全体のうちのどのくらいの割合ですか。（5 択）
※17. の選択肢（75%～100%，50%～75%未満，25%～50%未満，25%未満，実施されていない）
18. この授業において 15 回の授業のうち「レポートのフィードバック」は実施されましたか。また，その頻度はどのくらいですか。（5 択）
※18. の選択肢（15 回，10 回以上 15 回未満，5 回以上 10 回未満，5 回未満，実施されていない）

19. この授業を通して、コミュニケーション力は身につきましたか。(5択)

20. この授業を通して、論理構成力は身につきましたか。(5択)

アンケートの結果は、全学教育機構点検評価委員が内容について検討・解析した。以下に回答について、科目区分ごとにその結果を報告する。

1. はじめに

2020年度後期期末アンケートは、全学教育機構で実施されるすべての授業を受講する延べ20,758人の学生を対象として実施された。その結果、対象延べ人数の33%に当たる延べ6,757名から回答を得た。回答率は、通常の授業が実施された2019年度後期と比較すると、27ポイント低い結果となった。

アンケート項目は、前掲の枠内の20項目である。そのうち、項目1～9は高等教育研究センターが設定した項目で、主として学生自身に関する質問である。項目10～15は学生から見た授業および教員に関する質問である。項目16～20は教養系のうち演習形式の授業(〇〇ゼミ)の受講生を対象とした質問である。

自由記述である項目8・9・15を除いた項目を数値化して、以下の図1～3のように、授業タイプ別に集計した。さらに、それぞれを構成する科目区分ごとに傾向を解析し、授業外の学習時間に注目しながら、重要と思われる特徴について記述した。

アンケート結果の分析に際して、「達成感(設問7)と教員の熱意・意欲(設問10)」、「達成感(設問7)とクラスサイズ(受講登録者数)」、「達成感(設問7)と授業外学習時間(設問5)」など、アンケート結果の5項目間の相関関係を参考にした。なお、2020年度後期は、新型コロナウイルス感染症対応のために、eALPSによる遠隔授業が、基盤系「健康」の実践、教養系のうち演習形式の一部の授業及びスポーツ実習を除き、ほぼすべての授業において取り入れられた。

図1【講義科目】

「授業アンケート」授業種別集計表

対象部局： 共通教育（全学教育機構）
 開講年度： 令和2年度 対象期間： 後期 授業種別： 講義
 集計人数(実数)： 3637 人

番号	設 問	0%	20%	40%	60%	80%	100%
1	必修・選択の別を記入して下さい。	830		2807			
2	授業目標に到達しましたか。	602	2474			451	92
3	シラバスは役に立ちましたか。	577	1952		919	149	40
4	適切な授業外学習が課されましたか。	767	2231			511	102
5	一週間あたりどのくらい授業外で学習しましたか。	719	1390	1140		293	95
6	あなたの態度は良かったですか。	1103	1964			423	122
7	授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか。	840	2184			476	117
8	できるようになったことや学んだことを入力してください。	自由記述					
9	もっとも価値があったもの・ことを入力してください。	自由記述					
10	教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていましたか。	1431	1815			334	48
11	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	1328	1658			542	78
12	教員は、板書等を見やすく示していましたか。	1395	1730			335	120
13	教員は、シラバスの各項目に沿って授業をしましたか。	976	2091			540	26
14	教員は、学生の理解度を確認しながら進めましたか。	1013	1658		743	159	64
15	この授業について意見要望等を入力してください。	自由記述					

青：強くそう思う，水色：そう思う，緑：どちらでもない，ピンク：そう思わない，赤：全くそう思わない

※1.の選択肢 青：必修，水色：選択

※5.の選択肢 青：30分未満，水色：30分以上～1時間未満，緑：1時間以上～2時間未満，ピンク：2時間以上～3時間未満，赤：3時間以上

図2【演習科目】

「授業アンケート」授業種別集計表

対象部局： 共通教育（全学教育機構）
 開講年度： 令和2年度 対象期間： 後期
 集計人数(実数)： 654 人 授業種別： 演習

番号	設 問	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
1	必修・選択の別を記入して下さい。	635						
2	授業目標に到達しましたか。	163	432	48	7			
3	シラバスは役に立ちましたか。	126	330	165	23	10		
4	適切な授業外学習が課されましたか。	222	356	67	2			
5	一週間あたりどのくらい授業外で学習しましたか。	103	256	182	65	48		
6	あなたの態度は良かったですか。	273	309	60	3			
7	授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか。	304	305	33	3			
8	できるようになったことや学んだことを入力してください。	自由記述						
9	もっとも価値があったもの・ことを入力してください。	自由記述						
10	教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていましたか。	403	224	22	9			
11	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	365	231	53	4			
12	教員は、板書等を見やすく示していましたか。	318	274	59	2			
13	教員は、シラバスの各項目に沿って授業をしましたか。	228	322	96	8			
14	教員は、学生の理解度を確認しながら進めましたか。	265	297	77	3			
15	この授業について意見要望等を入力してください。	自由記述						
16	グループワークは実施されましたか。	126	186	115	77	117		
17	フィールドワークは実施されましたか。	58	37	37	42	426		
18	レポートのフィードバックは実施されましたか。	74	111	67	145	199		
19	コミュニケーション力は身につきましたか。	167	270	120	37	22		
20	論理構成力は身につきましたか。	154	317	118	4	40		

青：強くそう思う、水色：そう思う、緑：どちらでもない、ピンク：そう思わない、赤：全くそう思わない

※1.の選択肢 青：必修、水色：選択

※5.の選択肢 青：30分未満、水色：30分以上～1時間未満、緑：1時間以上～2時間未満、ピンク：2時間以上～3時間未満、赤：3時間以上

※16.及び18.の選択肢 青：15回、水色：10回以上15回未満、緑：5回以上10回未満、ピンク：5回未満、赤：実施されていない

※17.の選択肢 青：75%～100%、水色：50%～75%未満、緑：25%～50%未満、ピンク：25%未満、赤：実施されていない

図3【外国語科目】

「授業アンケート」授業種別集計表

対象部局： 共通教育（全学教育機構）
 開講年度： 令和2年度 対象期間： 後期 授業種別： 外国語
 集計人数(実数)： 2033 人

番号	設 問	0%	20%	40%	60%	80%	100%	
1	必修・選択の別を記入して下さい。	1908						125
2	授業目標に到達しましたか。	305	1383				279	579
3	シラバスは役に立ちましたか。	274	1003			614	114 28	
4	適切な授業外学習が課されましたか。	685		1223			176 343	
5	一週間あたりどのくらい授業外で学習しましたか。	180	774	851		183	45	
6	あなたの態度は良かったですか。	658		1101			211 567	
7	授業の一連の経験を通して、達成感を得ましたか。	479	1226				254 531	
8	できるようになったことや学んだことを書いてください。	自由記述						
9	もっとも価値があったもの・ことを書いてください。	自由記述						
10	教員は、熱意・意欲をもって授業を行っていましたか。	948		944			116 14	
11	教員の話し方は、明瞭で聞き取りやすかったですか。	794	943			247	308	
12	教員は、板書等を見やすく示していましたか。	683		1004			293 320	
13	教員は、シラバスの各項目に沿って授業をしましたか。	478	1117			412	112	
14	教員は、学生の理解度を確認しながら進めましたか。	685		1002			274 520	
15	この授業について意見要望等を入力してください。	自由記述						

青：強くそう思う，水色：そう思う，緑：どちらでもない，ピンク：そう思わない，赤：全くそう思わない

※1.の選択肢 青：必修，水色：選択

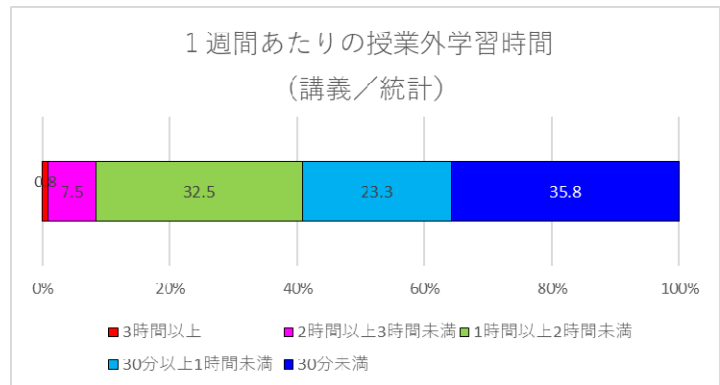
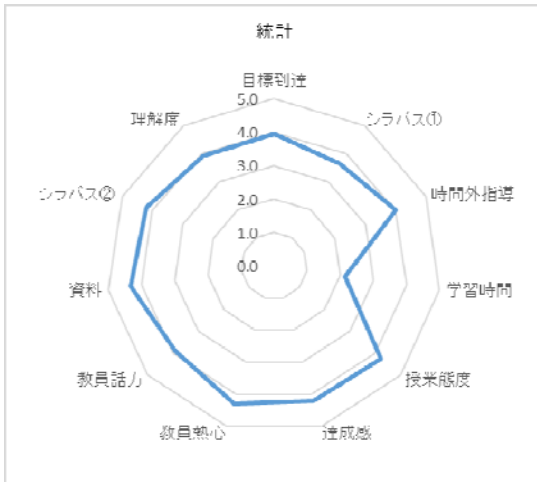
※5.の選択肢 青：30分未満，水色：30分以上～1時間未満，緑：1時間以上～2時間未満，ピンク：2時間以上～3時間未満，赤：3時間以上

2. 基盤系（統計・科学史・現代社会論，健康）

[統計]

今回から6科目開講された[統計]では、ほぼ全ての項目において、講義科目全体の結果と同様の傾向を示した。

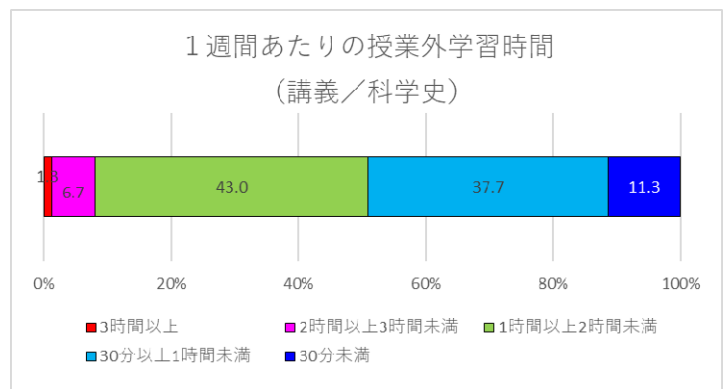
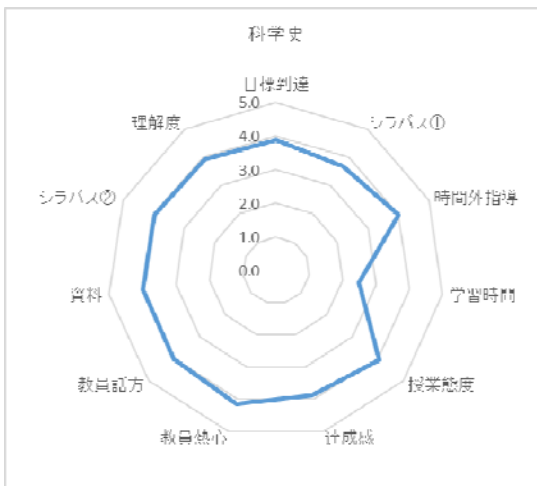
1週間当たりの授業外学習時間は約60%が1時間未満でやや値が低い。



[科学史]

科学史ではほぼ全ての項目において、講義科目全体の結果と同様の傾向を示した。1週間当たりの授業外学習時間に関しては、約50%が1時間未満であった。

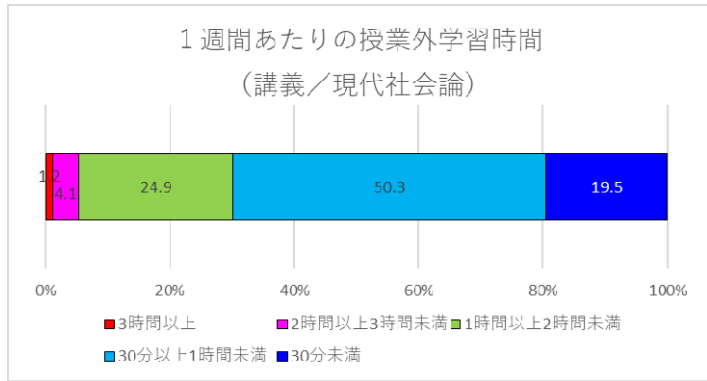
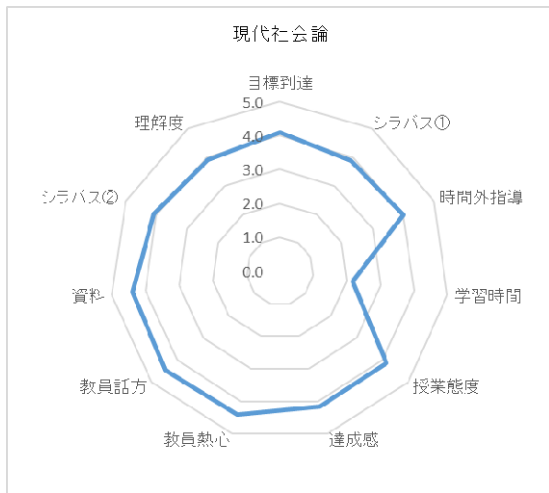
「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「達成感」，「達成感」と「教員の熱意・意欲」では、それぞれ正の相関関係が認められた。



[現代社会論]

[現代社会論]ではほぼ全ての項目において、講義科目全体の結果と同様の傾向を示した。

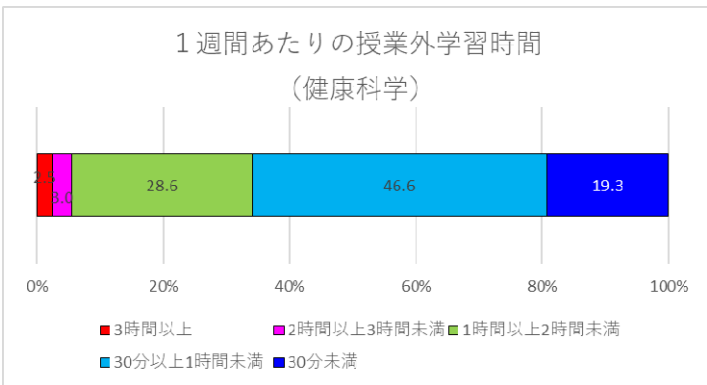
また、1週間当たりの「授業外学習時間」は約70%の学生が1時間未満となっている。



[健康]

「健康」ではほぼ全ての項目において、講義・実技全体の結果と同様の傾向を示した。1週間当たりの授業外学習時間に関しては、約65%が1時間未満であった。

「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「達成感」，「達成感」と「教員の熱意・意欲」では、それぞれ正の相関関係が認められた。



3. 教養系

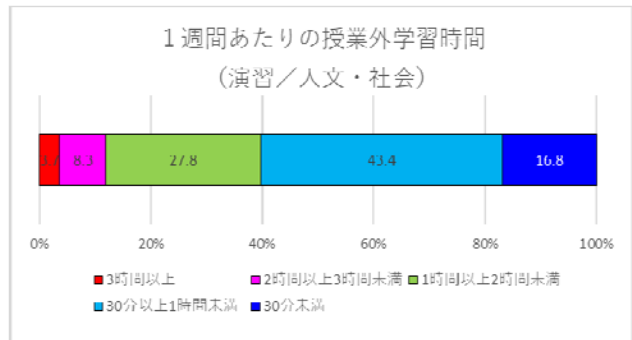
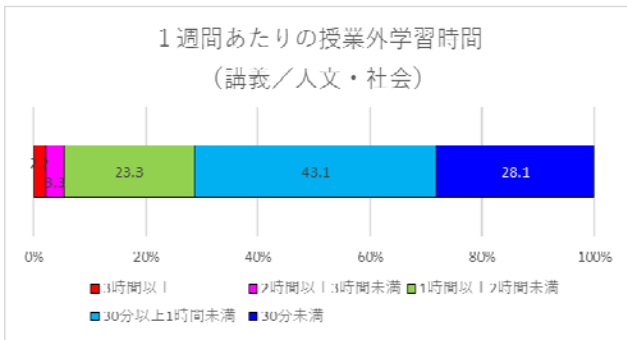
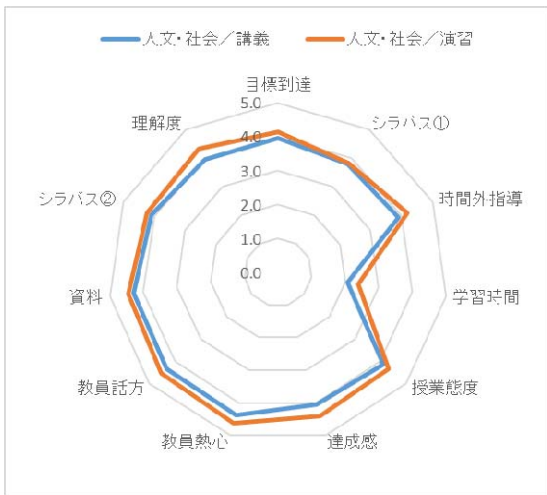
[人文・社会]

「人文・社会」の講義では、1週間当たりの「授業外学習時間」は約70%以上の学生が1時間未満となっている。

「達成感」と「教員の熱意・意欲」，「達成感」と「授業外学習時間」，「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「授業外学習時間」との間には正の相関関係が見られたが、「クラスサイズ (受講登録者数)」と「達成感」，「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「達成感」との間には相関関係は見出せなかった。

「人文・社会」の演習では、1週間当たりの「授業外学習時間」は約60%の学生が1時間未満となっている (ただし約40%の学生が1時間以上であり、2時間以上の学生は12%になっている)。

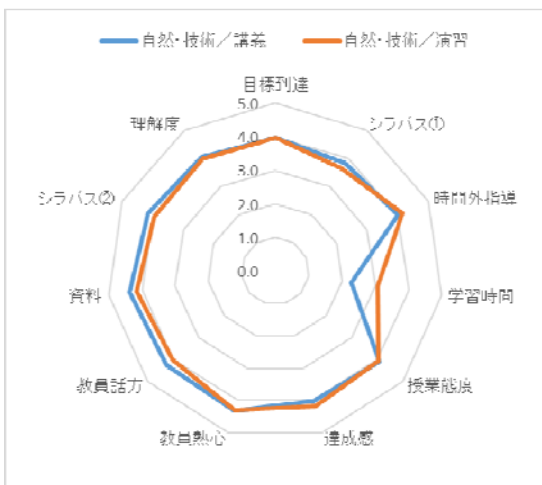
「達成感」と「教員の熱意・意欲」，「達成感」と「適切な授業外学習時間が課されていたか」，「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「授業外学習時間」との間には正の相関関係が見られたが、「クラスサイズ (受講登録者数)」と「達成感」，「授業外学習時間」と「達成感」との間には相関関係は見出せなかった。

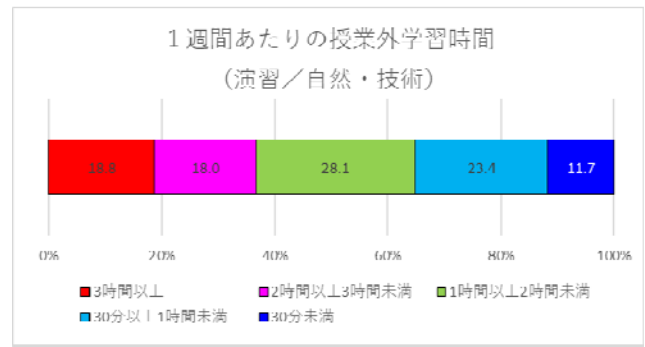
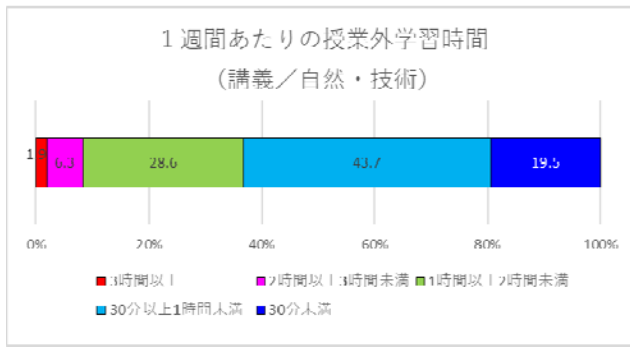


[自然・技術]

[自然・技術]では、ほぼすべての調査項目において、講義科目全体の結果とほぼ一致している。ただ、学生が行う「授業外学習時間」は、1週間で1時間以上学習する学生が、講義科目においては40%以下であるのに対し、演習科目においては60%以上と高い。また、他の講義科目と比較すると、「授業外学習時間」はやや高い。

「教員の熱意・意欲」および「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「達成感」との間には弱い正の相関関係が認められる。しかし、「達成感」と学生が実際に行った「授業外学習時間」および「クラスサイズ (受講登録者数)」との間には相関関係は見出されない。



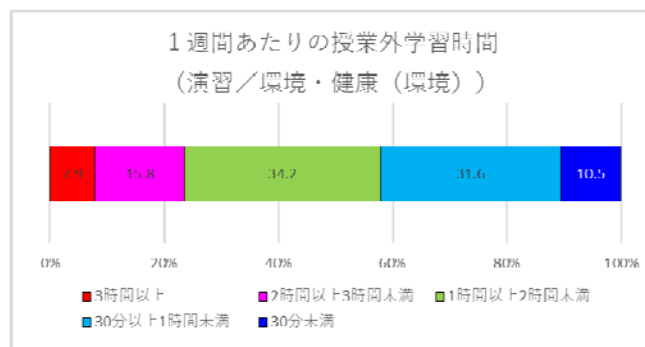
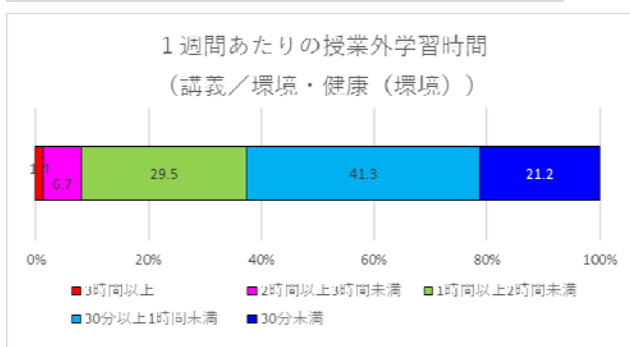
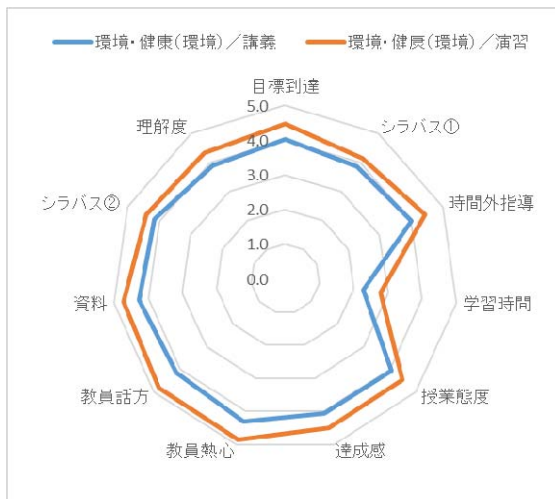


[環境・健康 (環境)]

[環境・健康 (環境)] では、学生が感じる「教員の熱意・意欲」, 「達成感」, 「目標への到達」については他の講義科目と同様の傾向を示す。

「達成感」と、学生が感じる「教員の熱意・意欲」および「適切な時間外学習の指導」との間にはある程度の正の相関関係が認められる。「授業外学修時間」および「クラスサイズ (受講登録者数)」と「達成感」との間には相関関係は見出されない。

すべての項目において、演習科目が講義科目よりも高い値を示す。この特徴は、他の講義科目と比較して顕著である。



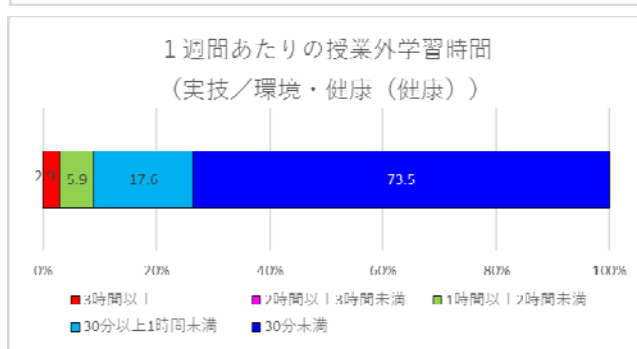
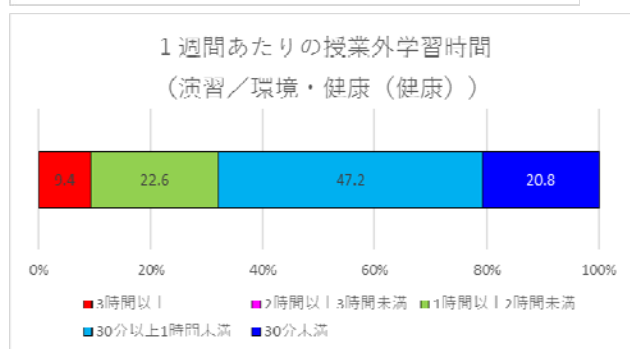
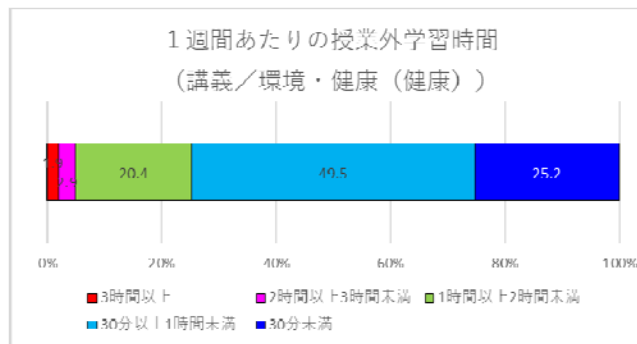
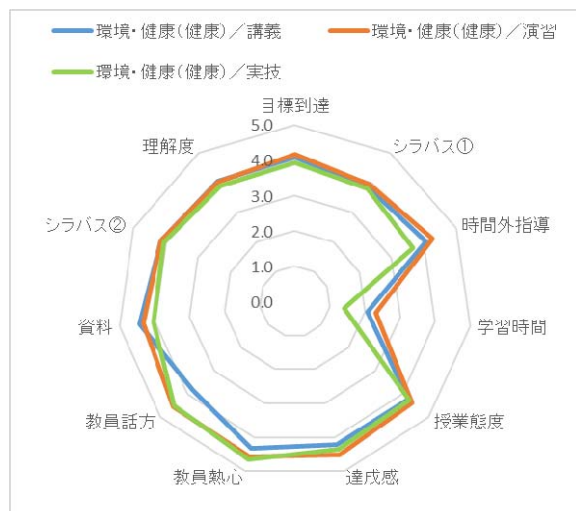
[環境・健康 (健康)]

[環境・健康 (健康)] では、講義科目, 演習科目, 実技科目でそれぞれ異なる傾向であった。講義科目と演習科目では「時間外指導」と「資料」で高い値を示し、演習科目と実技科目では「教員の熱心さ」, 「教員の話し方」, 「達成感」で高い値を示した。

各項目間の相関関係について、講義科目はサンプル数が少ないため評価が困難であった。演習科目では、特徴的な相関関係は見出せなかった。実技科目では、「達成感」と「教員の熱意・意欲」, 「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「授業外学習時間」との間に強い正の相関関係を認め

た。

1 週間当たりの授業外学習時間に関しては、講義科目では約 75%，演習科目では約 70%，実技科目では約 90%が 1 時間未満であった。



4. 外国語科目

[英語]

英語 1 年次

英語 1 年次では、講義科目全体と同様の傾向を示した。「達成感」と「教員の熱心さ」，「達成感」と「適切な授業外学習時間が課されていたか」との間に中等度の正の相関関係が認められた。

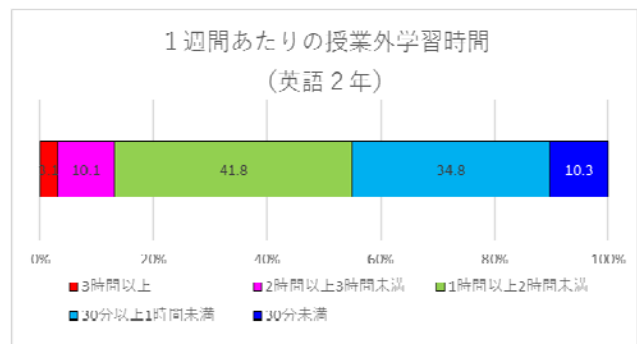
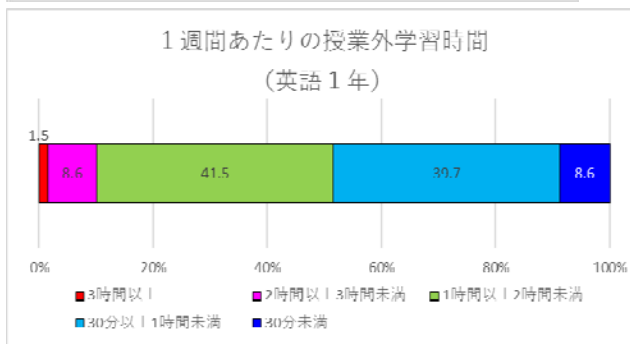
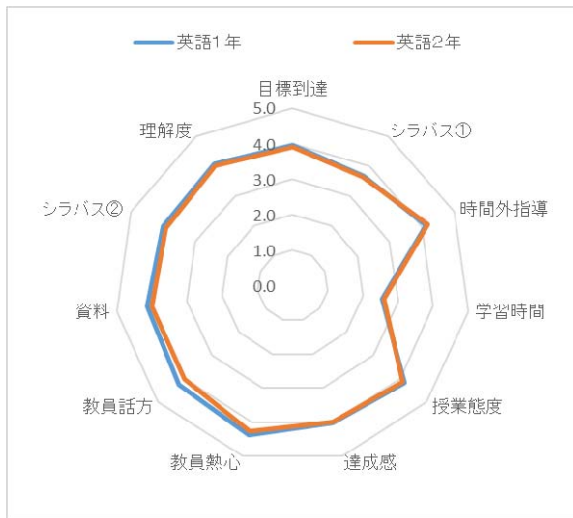
1 週間当たりの授業外学習時間に関しては、約 50%が 1 時間未満であった。

英語 2 年次

1 週間当たりの「授業外学習時間」は約 45%の学生が 1 時間未満となっている。

「達成感」と「教員の熱心さ」には弱い正の相関関係，「達成感」と「適切な授業外学習時間が課されていたか」との間には明らかな正の相関関係が認められる。

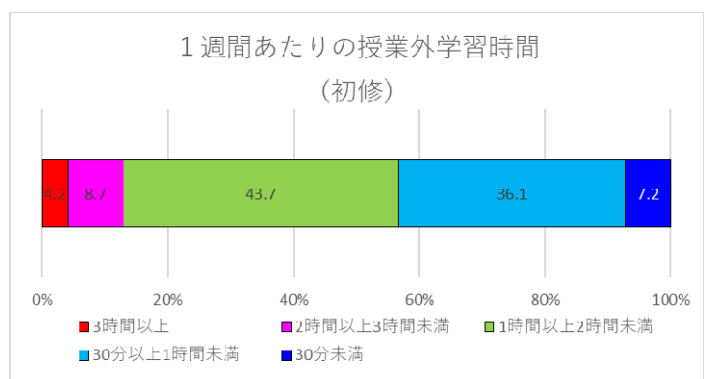
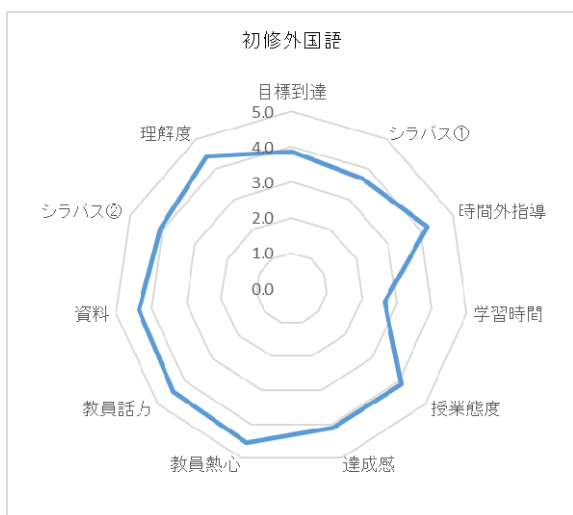
「クラスサイズ (受講登録者数)」と「達成感」，「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「授業外学習時間」との間には相関関係は見出せなかった。



[初修外国語]

「達成感」と「教員の熱心さ」，「達成感」と「適切な授業外学習時間が課されていたか」との間には明らかな正の相関関係が認められる。「クラスサイズ (受講登録者数)」と「達成感」，「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「授業外学習時間」との間には相関関係は見出されない。

「授業外学習時間」は他の科目と比較してほぼ同等であり，目立って学習時間が長かった昨年度までの傾向とは異なる。

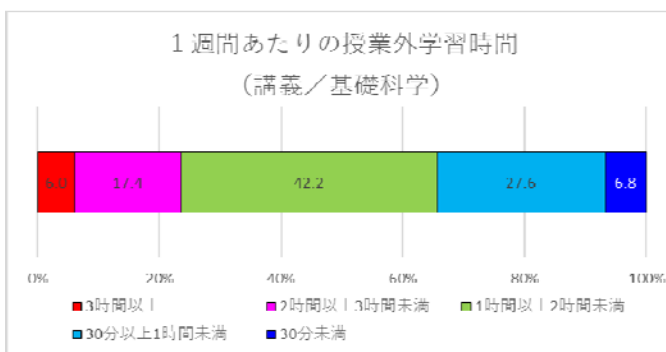
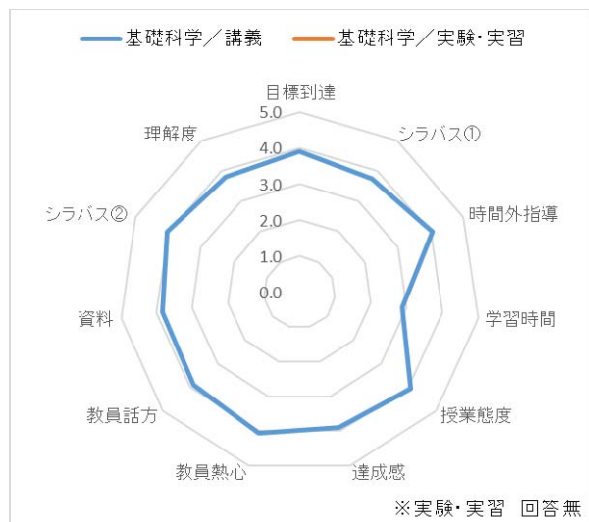


5. 基礎科学科目

基礎科学科目の講義科目では他の講義科目と同様な傾向を示すが，「達成感」に関するポイントは，他の講義科目と比較すると低い。学生が行った「授業外学習時間」は講義科目としては最も長く，1週間あたり1時間以上の場合が60%以上である。

「達成感」と「教員の熱心さ」，「達成感」と「適切な授業外学習時間が課されていたか」との間

には強い正の相関関係が認められる。「クラスサイズ（受講登録者数）」と「達成感」，「適切な授業外学習時間が課されていたか」と「授業外学習時間」との間には相関関係は見出されない。



6. まとめ

2020年度後期の学生による授業アンケートの回答率は、前期の44%をさらに下回り33%にとどまった。この値は、昨年度後期の60%と比較して27ポイントの低下である。とくに、外国語全体が29%（昨年度後期79%）、スポーツ実習（環境・健康（健康））が28%（昨年度後期88%）と大きく低下している。オンライン授業が主体となる場合は、回答率低下防止の対策が必要である。

講義科目、演習科目、外国語科目に大別した集計結果は、図1～3の通りである。学生自身について答える項目（項目2～7）においては、演習科目において「授業外学習時間」、「受講態度」、「達成感」などの項目で肯定的なポイントが高い。

授業および教員に関する項目（項目10～14）においては、すべての項目について、演習科目において肯定的なポイントが最も高いかそれに準じる傾向が認められる。

各科目区分の11項目に関する回答の傾向は、次頁のレーダーチャートのように、科目区分間ではほぼ同じ傾向を示す。大学設置基準によって必要とされる授業時間の3倍の予習・復習時間を基準とすると、これまで同様、「授業外学習時間」が他の項目と比較して大きく下回る結果となっている。

今年度から新たに始まった基盤系のうち、学術リテラシー以外では他の講義科目とほぼ同等の結果である。ただ、一部の科目において、「目標への到達」や「達成感」においてポイントがやや低いものも見出される。

教養系では、[人文・社会]、[自然・技術]、[環境・健康]の各科目区分において回答は同じ傾向を示している。ただし、「適切な授業外学習時間が課されていたか」、「授業外学習時間」、学生が感じた「達成感」に関しては、講義科目よりも演習科目のポイントが高い傾向が明らかである。とくに、環境・健康（環境）科目の演習授業においては、すべての項目において最もポイントが高い結果となっていることが注目される。教養系には大人数の授業も多いが、「クラスサイズ（受講登録者数）」と「達成感」との間には相関関係は認められない。大人数授業でも学生が高い達成感を得ている例もあり、教員の工夫がうかがえる。

環境・健康（健康）科目（スポーツ実習）では、とくに学生の「達成感」と「教員の熱心さ」に関するポイントが高い。

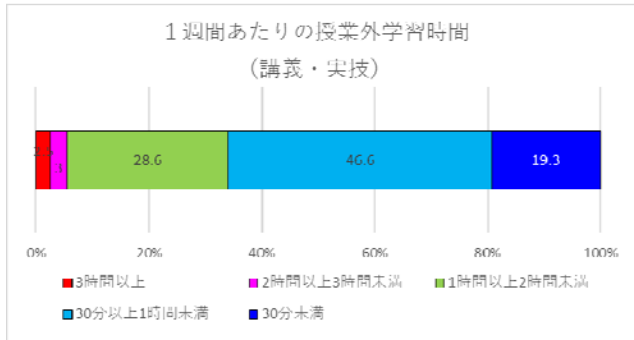
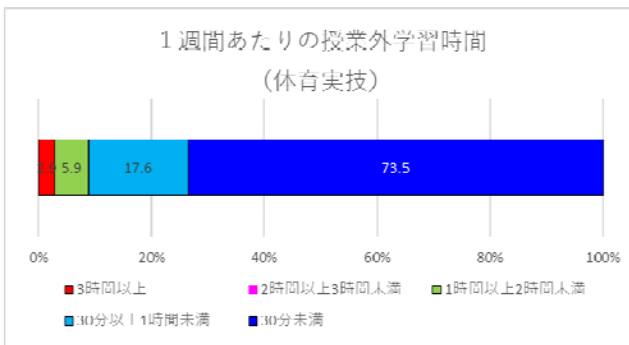
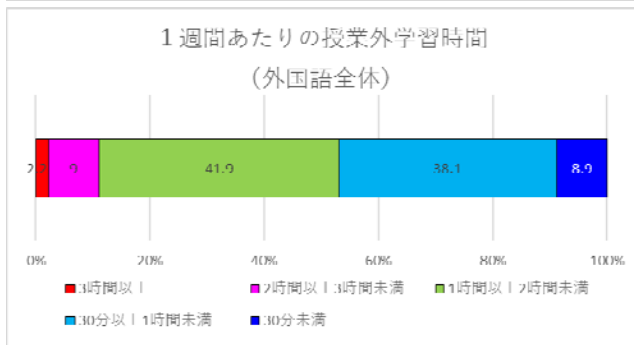
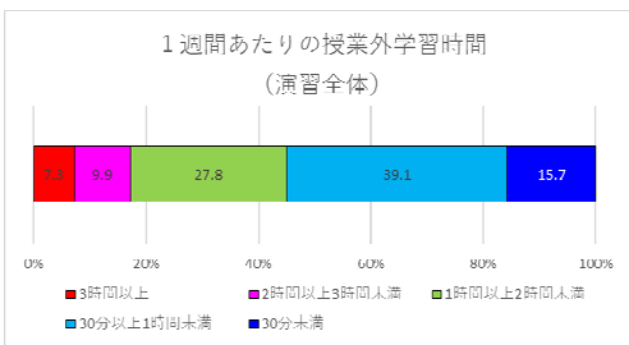
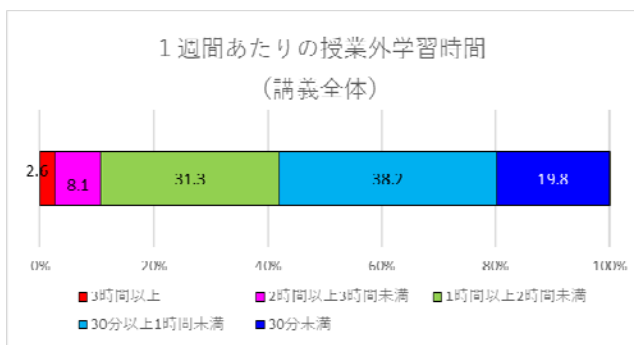
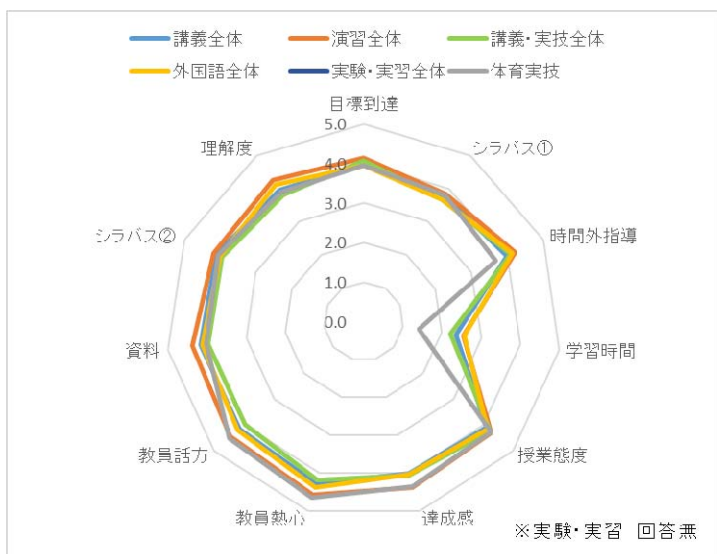
英語科目（1・2年次）および初修外国語では、ともに、「適切な授業外学習時間が課されていたか」および「授業外学習時間」のポイントがやや高い。「クラスサイズ（受講登録者数）」と「達成感」との間には相関関係は見出されない。

基礎科学科目の講義科目では学生の「授業外学習時間」のポイントが高い。しかしながら、学生が感じる「達成感」や「目標への到達」に関するポイントが低いことについて留意が必要である。

全体を通して、学生の「達成感」と、学生が感じる「教員の熱心さ」、「適切な授業外学習時間が課されていたか」との間にはかなり明瞭な正の相関関係が認められる。学生が感じる「教員の熱心さ」には科目区分の間での差は認めらず、全体として熱心な授業が行われていることがうかがえる。講義科目と比較すると、演習科目においてポイントが高くなる傾向が明らかである。この傾向はすべて対面で行われた昨年度以前にも認められているが、今年度は講義科目の89%がオンラインで行われたのに対し、演習科目のうちの約55%が対面及び対面・オンライン併用で実施されたことにも関係している可能性がある。

2019年度後期のアンケート結果と比較すると、「授業外学習時間」に関しては、講義科目、実験・実習科目、外国語科目などにおいて、ポイントが上昇している。これに関しては、新型コロナウイルス感染症対応のために、eALPSによるオンライン授業が大幅に取り入れられたことによって教員の指示が明確になり、学生の授業への取り組み方が変化したことによる可能性がある。一方で、自宅学習の時間を「授業外」の学習時間に含めて回答している可能性があるので注意を要する。また、「教員の

熱意」，「教員の話し方」，「シラバスに沿った授業」，「学生の理解度の確認」については，講義科目において肯定的回答が減少していることに留意が必要である。



共通教育授業アンケート(2020後期期末)平均値一覧

集計区分		受講登録者数 (人)	回答者数 (人)	回答率	設問1 必修・選択	設問2 目標への到達	設問3 シラバスは役に立ったか	設問4 適切な授業外学習	設問5 授業外学習時間	設問6 授業態度	設問7 達成感を得られたか	設問10 教員の熱心度	設問11 教員の話し方	設問12 資料等見易さ	設問13 シラバスに沿った授業	設問14 学生の理解度確認	
基盤系	統計	講義	318	120	38%	0	4.0	3.6	4.0	2.1	4.2	4.2	4.3	3.9	4.3	4.2	3.9
	科学史	講義	577	300	52%	0	3.9	3.7	4.0	2.5	4.1	3.9	4.1	4.0	4.0	4.0	3.9
	現代社会論	講義	690	169	24%	0	4.1	3.9	4.0	2.2	4.1	4.1	4.4	4.4	4.4	4.1	3.9
	健康	講義・実技	1089	399	37%	0	4.1	3.7	4.1	2.2	4.2	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0	3.8
教養系	人文・社会	講義	2168	737	34%	0	4.0	3.8	3.9	2.1	4.1	4.1	4.4	4.3	4.3	4.1	4.0
		演習	850	435	51%	0	4.1	3.8	4.2	2.4	4.3	4.4	4.6	4.6	4.4	4.2	4.3
	自然・技術	講義	1466	462	32%	0	4.0	3.8	4.0	2.3	4.1	4.0	4.3	4.3	4.4	4.2	4.0
		演習	381	128	34%	0	4.0	3.6	4.1	3.1	4.1	4.2	4.3	4.0	4.1	3.9	4.0
	環境・健康(環境)	講義	1962	708	36%	0	4.0	3.9	4.0	2.3	4.1	4.1	4.3	4.1	4.3	4.2	3.9
		演習	106	38	36%	0	4.5	4.1	4.4	2.8	4.5	4.5	4.8	4.8	4.7	4.4	4.3
	環境・健康(健康)	講義	195	103	53%	0	4.1	3.8	4.1	2.1	4.2	4.2	4.3	3.8	4.4	4.2	4.0
		演習	126	53	42%	0	4.2	3.9	4.3	2.3	4.4	4.5	4.6	4.5	4.3	4.2	4.0
		体育実技	120	34	28%	0	3.9	3.8	3.7	1.4	4.3	4.4	4.6	4.5	4.0	4.1	3.9
外国語	英語1年	4208	1284	31%	0	4.0	3.7	4.1	2.5	4.2	4.0	4.4	4.2	4.1	4.0	4.1	
	英語2年	2051	486	24%	0	3.9	3.7	4.2	2.6	4.1	4.0	4.3	4.0	4.0	3.9	4.0	
	初修外国語	753	263	35%	0	3.9	3.7	4.2	2.7	4.1	4.1	4.6	4.4	4.3	4.1	4.4	
基礎科学科目	講義	2629	844	32%	0	3.9	3.7	4.0	2.9	4.1	3.9	4.1	3.9	3.8	4.0	3.8	
	実験・実習	7	0	0%	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
講義全体		11067	3637	33%	0	4.0	3.8	4.0	2.4	4.1	4.0	4.3	4.1	4.2	4.1	3.9	
演習全体		1463	654	45%	0	4.1	3.8	4.2	2.5	4.3	4.4	4.6	4.5	4.4	4.2	4.2	
講義・実技全体		1089	399	37%	0	4.1	3.7	4.1	2.2	4.2	4.1	4.2	4.0	4.0	4.0	3.8	
外国語全体		7012	2033	29%	0	3.9	3.7	4.1	2.6	4.2	4.0	4.4	4.2	4.1	4.0	4.1	
実験・実習全体		7	0	0%	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
体育実技		120	34	28%	0	3.9	3.8	3.7	1.4	4.3	4.4	4.6	4.5	4.0	4.1	3.9	